

時代とともに変わり行くビジネススタイル。 大切にしたい表現の原点。

イヴレス(株) 代表取締役社長 山川 景子

世の中に流行や、時流があるように、グストルームも50年余りを振り返るといふん変遷しました。日本人のライフ・スタイルが、時代の流れの中で緩やかに変化し、格差はあるものの、生活空間の向上が旅のグストルームに与えた影響は少なく感じます。

自分の思いはいつしかデザインになりカタチになりビジネスになった

私をはじめホテルを利用したのは、大阪・中島の間に「リーガロイヤルホテル」。35年前になります。10代の私が見た「リーガロイヤルホテル」は、あまりにも豪華で宇宙的な空間でした。どしどし沈む誠意、眩しいほどの照明。ロビー正面には滝が流れ、着物の女性がコーヒーターを運ぶ。グストルームも同様、ドアップを持った瞬間に緊張が走り、

なかなかカギを開けられなかった記憶があります。

客室アイテムには「リーガロイヤルホテル」のロゴが多く見られ、自分の気持ち以上の高級感を体感させて貰いました。タオルや、ベッド、毛布、枕も当時の私には触れるのがもったいないと思うほど美しくつらえられていました。

以来、旅好きの私は、先立と連動し、宿泊先にも大切にこだわりを持つようになります。20代～30代の旅は、そのほとんどが海外で、行く先々のホテル情報を出掛ける前から収集するのが楽なものでした。

インターネットもなかった時代は、旅の雑誌が指南本となりました。展示会や工場開拓、商品管理などで訪れた都市は、それぞれ刺激でした。特に、ミラノ/サローネで体験した展示品には目を奪われました。アラブの富豪をターゲットにした豪華アイテム。コーナーごとに強烈なインパクトがあり、赤と白で統一されたモダンな会場は、往来しているだけで背筋がピンと伸びました。訪れた不思議な空間に何年も圧倒され、魅了されていました。ミラノの街は洗練されており、ただ歩いてるだけでセンスが磨かれ、感覚が吸収されているような気分になりました。

バリ島も同様で、街歩きしながら発見した家具、調度品、小物、アメニティ、どれも新しくスタイリッシュと感じました。小さな村に多数のリゾートホテルが進出し、その度に見学に出かけていました。遠出をした「アマタリ」や「アマノク」の美しさは、言葉を超えた感動がありました。

もしも私の感性が正しいのであれば、海外で体験したグストルームでの空気を日本に運んで来れば、きっと新しい風を吹き込むことができる。思いは、いつしかデザインになり、カタチになり、海外生産、納品とビジネスになって行きました。

PCソフトの活躍がビジネスを拡大

もう20年も前になるでしょうか。PCを使っての表現ができたのは、これまで、手書きでこつこつ積み上げてきたものをIllustrator、PhotoshopなどのPCソフトを使い、作りたいモノや提案書がモニターの中でつくられてい。提供されるロゴなども、簡単に反映することができ、イヴレスの仕事を大きく変えて行きました。依頼されるお

客さまも、より具体的な画像を見ることにより、サンプルをつくる前から期待感の高まりが感じられました。

時代を振り返れば実に面白く、FAXが登場した時の驚き、これさえあれば何でも処理できる。モノクロで流れてくる書類が、仕事をどんどん効率化して行きました。「言った」「言っていない」ありがちな失敗が、デザインやカタチだけでなく、伝票や要件までFAXでEvidenceになって行なったのです。

DTPなどの編集ソフトは、当時の私には魔法の道具に思えました。何十時間もかけて重ねたカラーカットが、モニターの中で瞬時にできあがっていくのを体験しながら、機械の発明がどれだけ仕事を楽にしてくれるのか。子供の頃に見た鉄腕アトムの世界に引き込まれたようでした。できあがったサンプルもデジタルカメラで簡単に撮影、そのまま写真付きの提案を可能にし、カタログをつくる費用もなかった小規模オフィスには強い味方となりました。大しうまくないレイアウトも写真の力に、おおいに助けられました。

ホテル、旅館が時代の中でどんどんグループ化され、ふと気づけば、周りはチェーン化されたホテル。旅館がほとんどになってしまいました。そうした中でも、地域の特性や色を出して行くにもPCソフトの活躍が大きかったと実感します。同じ柄やカタチも紙面でも色を変えて提案することで、一気に地域の特性を表現、同様に季節を感じさせる色展開も提案できるようになりました。

ちょっといいかごとでもいいに変わる

インターネットの普及で仕事の背景を変えたのは、どの業界も同様だと思います。イヴレスでもは数年前まで、すべてのアイテムが海外生産で、それを取りもどめて行く作業も大変でしたが、インターネットの普及により、素材やデザインの確認、検品方法のすり合わせ、トラブルの際は即時に画像で問題共有を行えるようになりました。Skypeの登場で、どこにいても無料で会議もできます。まさに鉄腕アトムの世界が到来したことになります。

客室アイテムの中にデザインが必要と感じながらもなかなかそれを実現することもできずじまいでしたが、時代も変わり、お客さまの意識も次第に移り変わって行きました。イヴレスがつくるオーダーメイド客室アイテムは、部屋のインテリアに馴染み、時には主張し、隠れたサービスとなって行ったりも思います。そうしたことも、打ち合わせの段階から多くの提案資料によって実現出来たことと思います。昨今でもより立体的に表現して見せる3Dプリンターなども作業の補助となっています。また、実務的な作業として、お客さまと受発注や在庫を共有できるインフォワードの登場が、事務作業を効率化し、ペーパーレス時代の到



来を感じさせられました。

グストルームを体験するお客さまもいいと感じたモノ、コトは、瞬時に写真を撮り、自分の思い出と共に、画像を保存するようになりました。多数のSNSサイトで、イヴレスのアイテムを見ることができず。それは我々が発信している広告ではなく、グストが旅の思い出として、個人の記事としてあがっているのです。イヴレスの製品を持ち帰ったこと個人のプロブログやfacebookサイトなどで、気軽に体験を発信。宿泊予約サイトにも多くの書き込みが残っています。インテリアの挿入物となり、一番先に決める客室アイテムこそ、お客さまが手に取り実際に使っていたとき、感想を述べてもらえるアイテムということによりやく誰かが気づき出したのかもありません。特にここ10年を振り返れば、女性客自らの予約ペースも一気に増加し、女性客に喜んで頂けるアイテムを探しておられるホテル・旅館は非常に多いと実感します。今後ますますこうした需要が高まり、イヴレスにお声掛けいただけるのではないかと期待感もふくらみます。ちょっといいか、とてもいいに変わるとき、おもてなしをカタチにしたようにになるのだと定義付けています。

山川 景子 (やまかわ けいこ)
イヴレス 代表取締役社長

大阪育ち生れ。ミニコミ誌編集部などを経て、1990年にイヴレス株式会社を創業。中国・青島にも拠点を持つ。

「イヴレスの仕事」
名前の無いカタチ
真意の無いデザイン
山川景子 著

価格：本体1,500円＋消費税
162×216 144頁 並装

御予約・お問い合わせ先
http://ghtpub.co.jp/archives/
books/news/2015/